

■ちーびし

○執筆者紹介

①生年・出身地, ②所属, ③専門領域, ④研究業績, ⑤奄美と関係した活動の順番で掲載しております。

■狩野 浩二 (かりの こうじ)

- ① 1964年・東京都
- ② 教育学部学校教育(教育学)助教授
- ③ 教育実践史, 授業研究
- ④ 「自然環境と教材開発(523-532頁), 農業における人づくりと学習(533-546頁), 沖永良部の家族と子ども・青年の地域自立的発展の役割(547-561頁)」, (神田嘉延編著『環境問題と地域の自立的発展—離島・へき地を中心に—』2004年, 高文堂出版社) 「伊江村立西小学校の教育実践」(『鹿児島大学教育学部紀要(教育科学編)』第52巻, 193-210頁, 2001年) 「(沖縄第三土曜の会)の教師と教育実践」(『鹿児島子ども研究センター研究報告』No.10, 67-79頁, 2001年)

■下園 幸一 (しもぞの こういち)

- ① 1968年・鹿児島県
- ② 法文学部経済情報学科経営情報講座助教授
- ③ システム設計, 分散ネットワーク(インターネット)
- ④ 鹿児島市受託研究「鹿児島市行政評価システムにおける評価シート及びデータベースプログラミング研究」, 平成15年度.
鹿児島市受託研究「『かごしまITにぎわい創出事業』に関する調査研究」, 平成15年度.
「離島ブロードバンド教室」, 共著, 情報処理学会研究会(コンピュータと教育)報告, 2005-CE-78, pp. 65-72, 平成17年

■土居 正典 (どい まさのり)

- ① 1950年・愛媛県
- ② 鹿児島大学法科大学院教授
- ③ 行政法・環境法・地方自治法
- ④ 『行政法の争点〔第3版〕』有斐閣, 2004年
『環境法辞典』有斐閣, 2002年
『環境キーワード事典』第一法規, 2001年

■山本 一哉 (やまもと かずや)

- ① 1966年・鹿児島
- ② 法文学部経済情報学科国際協力講座助教授
- ③ 国際経済論, アジア経済論
- ④ 「韓国における銀行再編」鹿児島県地方自治研究所『自治研かごしま』(No.78, 2003. 8)。「沖縄・奄美群島の物流と自立化」『島嶼地帯の県境を越えた市町村合併に関する総合調査—奄美群島を事例にして(平成15年度文部科学省科学研究補助金/基礎研究(B)(2)/研究代表者:山田誠)』(2004年3月)

○編集後記

■ 奄美サテライト教室開講式

4月22日に、名瀬市長をはじめ地元の有識者の方々をお迎えして、奄美サテライト教室の本格的な展開を記念する開講式を催した。新設の特任教授をお願いした井上晃男名誉教授は、ご自分の博士論文が奄美の毒ガニであったことを少し緊張気味に話された。私はといえば、ご招待した方々を前にして、鹿児島大学はこの間、奄美とのコンタクトを強めつつあるが、人文社会科学研究科および法文学部だけが奄美に高等教育を定着させる継続的な努力を注入してきたこと。しかしながら、それが定着できるかどうかを最終的に決めるのは、奄美の方々がそれを受容し、維持するだけのエネルギーを発揮して下さるかどうかであること。これらを、率直に申し述べた。

私は、この開講式には複雑な気持ちで臨んだ。新年度の受講生を増やすべく、昨年末から何度か奄美内を走り回ったが、残念ながら新規の受講生は現れず、昨年とまったく同じ顔ぶれに終わったからである。当日、私の表情は、新規受講生の発掘に向けた手がかりが見えないことからくる焦りと、文部科学省がサテライト教室の意義を認めてくれたという誇らしさが入り混じっていたであろう。とはいえ、新たに人文社会科学研究科に作られた奄美委員会のメンバーたち、地元の各種団体の代表などが大勢集まって下さり、異口同音に新規受講生発掘への協力を申し出てくださったのはとても心強かった。

(山田 誠・プロジェクト代表)

- 表紙写真は、4月22日に名瀬市で開催された、サテライト教室開講式の様子です(両端)。中央には、4月のある日に法文学部から撮影した、桜島の写真を入れました。今後は、法文学部の風景も少しずつ紹介していきたいと思っています。(今徳)

研究責任者 山田 誠

奄美ニューズレター

発行 鹿児島大学

編集責任者 萩野 誠

AMAMI News Letter

発行日 2005年7月1日